

ドッグ豆知識

ドッグの病気や健康、性質などに関する豆知識をご紹介します。

気づいたら
早めに
病院へ!

「皮膚炎」に気をつけて

あたたかくなると虫(ノミ・マダニ・蚊など)や細菌・真菌(カビ)などが増殖しやすくなり、「皮膚炎」が多く見られるようになるので注意しましょう。

✓ 症状・原因

ノミアレルギー皮膚炎

- ノミに咬まれることにより、かゆみや皮膚の赤みなどの症状が出ます。全身に粟粒状の湿疹が出ることもあります。
- 1カ所でもノミに咬まれると発症する可能性があります。



細菌性皮膚炎

- ブドウ球菌や大腸菌などが皮膚の表面で増えることによって発症します。白や黄色のカサバタ状のものが毛の根元にでき、カサバタと一緒に毛が抜けることがあります。
- 症状が急激に進む「急性湿疹」の場合、一晩で広範囲に毛が抜けてグチュグチュした状態になることもあります。

真菌性皮膚炎

- 糸状菌やマラセチアというカビの一種が原因の場合が多いです。
- 「皮膚糸状菌症」は、円形に脱毛が広がっていくのが特徴です。糸状菌は、人間にも感染する可能性があります。
- 「マラセチア性皮膚炎」は、皮脂の多い犬種が特になりやすく、独特な脂臭いニオイがします。

✓ 予防

- 皮膚炎・皮膚病の予防には、清潔と乾燥が大切です。
- 細菌や真菌が増えにくい状態を保つため、ブラッシングやトリミングなどで皮膚の通気を良くし、環境中の湿度や温度を下げ、殺菌成分の入ったシャンプーで定期的に洗うなどして予防しましょう。
- 野生動物などからの感染を防ぐため、柵や犬舎の適正な維持管理を行い、病原体などの外部からの侵入を防ぎましょう。

✓ 治療

- 症状が出ている時には、動物病院で抗生剤や抗真菌薬、かゆみ止めなどが処方されます。患部や炎症の範囲によっては飲み薬や塗り薬などを使用します。



お知らせ

いきがいライフたかまつ 「おかやまオレンジカフェ(認知症カフェ)」 休止のお知らせ

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「おかやまオレンジカフェ(認知症カフェ)」と集団ドッグセラピーを休止しています。再開のめどがつかましたら、改めてホームページ等でご案内いたします。ご利用者様やご家族の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

参加申し込み先

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部 E-mail dog_therapy@ikenaga-group.jp
※見学、ご家族の付き添いも遠慮なくご連絡ください。



〈お問い合わせ〉

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部

〒701-1333 岡山県岡山市北区立田587番地
TEL.086-905-0111(直通) FAX.086-287-8261
E-mail. dog_therapy@ikenaga-group.jp

<http://www.therapydog.jp>

Instagram
はじめました

[Dog_therapy_ikenaga](https://www.instagram.com/dog_therapy_ikenaga)



燦々 Sansan

有限会社かりゆし
ドッグセラピー事業部 会報誌

Vol.32 / 春夏号
2020年

Contents

- ドッグの健康管理・衛生管理について
- ドッグセラピー症例報告
- セラピードッグたちの成長日記
- ドッグ豆知識/「皮膚炎」に気をつけて
- 「おかやまオレンジカフェ(認知症カフェ)」休止のお知らせ

【お見舞い】

現在、国内外で流行している新型コロナウイルスに罹患された皆様、ご家族様、関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また、私たちの生活を支えてくださっている皆様、感染防止や医療福祉に携わっておられる皆様に深く感謝を申し上げます。当施設においては、常日頃より感染予防対策を徹底していますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、厚生労働省と行政の方針に基づき、より一層の感染予防対策強化を実施しています。罹患された方の一刻も早いご快復と事態の収束、皆様の安全を祈念いたしますと共に、何卒、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ドッグの健康管理・衛生管理について

当施設は、ドッグに対して次のような健康管理・衛生管理を徹底しています。

+

予防注射と定期的な健康診断

当施設のドッグは全頭、予防注射と獣医師の定期的な健康診断により、病気がないことを確認して活動を行っています。

+

日々の健康管理と衛生管理

毎朝、スタッフが全ドッグの健康状態を確認しています。

+

感染症や衛生に関する予防対策

- 毎日、犬舎内の十分な換気と掃除・消毒を行っています。
- ノミやダニの温床になりやすい抜け毛が溜まらないよう、掃除を行います。また、犬舎の外にも抜け毛が飛散しないよう、十分留意しています。
- 外部からの動物の侵入を防ぎ、感染症の原因となる病原体の侵入や拡散を防止しています。

+

抜け毛対策

定期的にシャンプーでよく洗い、毎朝、ブラッシングします。また、活動の際、服やベッドにドッグの毛が付着した場合は粘着テープを使って取り除きます。

+

排泄について

トイレトレーニングを行い、室内で失敗させないようにしています。万が一、粗相をしてしまった場合は、消毒液などを使って適切に処理します。

利用者様に対する配慮

- 活動後には、おしぼりの使用や、手洗いを実施しています。
- ドッグと顔を近づけることを喜ばれる利用者様もいますが、口元を舐めるなどの密接な接触は極力避けるようにしています。
- ドッグをシャンプーでよく洗い、被毛を清潔にしています。



【ドッグセラピー症例報告】

セラピードッグ「なつ」による
個別セラピー症例報告〔第2段階〕

楽しみや達成感を得られることで
自発的な行為が増加。

ドッグセラピー実施回数を週1回から週2回へ。

利用者様の「起き上がり回数」を増やすことを目的に、秋以降、「なつ」の訪問回数を週1回から週2回に増やしています。

〔利用者様のご様子〕

- 「なつ」が来る曜日(火曜・金曜)を覚えている。セラピーの日になると「なつが入れるように部屋の扉を少し開けておいてほしい」と職員に伝えている。
- 以前は「何もしたくない」といった様子だったが、支えなしでベッドから自分で起き上がれるようになった。
- 「なつ」との触れ合いを通じて足を動かす感覚をつかんでいる。
 - 立位の安定を図るため、平行棒を使って立ち上がり動作を実施。初めは職員が利用者様の背後で身体を支えていたが、自力で立ち上がれるようになった。「たいぎい」と言われる時もあったが、隣で「なつ」が立ち上がると、自ら平行棒に手を伸ばして一緒に立ち上がった。立ち上がる動作の最中、「よしよし」と「なつ」を褒める様子が見られた。(「たいぎい」は岡山弁で「面倒くさい」の意味)
 - しばらくの間、立ち上がり動作を継続し、慣れたご様子を確認したところで歩行器を使って歩く練習を実施。「なつ、ゴー!」と「なつ」に声を掛けながら、数メートル歩くことができた(支えあり)。「えらいけど、気持ちがいい」「走りたい」と言われた。(「えらい」は岡山弁で「疲れた」「しんどい」の意味)

楽しみ・役割によって、さらに意欲的に。

さらなる自発的な行動を促すことを目標に、「なつ」の散歩係をお願いしました。寒くなり、散歩に行くことが難しくなった冬季には、お部屋でおやつ係をしていただきました。

〔利用者様のご様子／散歩〕

- 「なつ」との散歩を楽しみにしておられ、「なつ」が来ると「天気はどんな?」と質問される。天気のいい日は「散歩に行こう。なつが喜ぶ」と自ら起き上がろうと身体を動かす。
- また、天気の悪い日は「一緒に寝よう」「なつ、ベッドへ上がってこい」と言われる。「なつ」が寝るスペースを空けてほしい」とお伝えすると、足を曲げ、体重移動をして身体を横へ動かす様子が見られた。

〔利用者様のご様子／おやつ係〕 ※「おやつ」はトレーナーが用意しています。

- ご自身の「お昼ご飯を分けてやりたい」という気持ちが芽生え、「なつ」が食べられるものはないか、ご自身の献立を事前にチェックされるようになった。
- 「なつ」がお部屋にいる時に配膳のワゴンが通りかかると、ほぼ自力で起き上がり、ベッドに座ることができた。
- 普段の起き上がりでは職員に甘えて「起こして」とおっしゃるが、「なつ」が来た時は「どうすりゃ、ええかな?」と言われ、トレーナーが起き上がりを手伝おうとすると、「かまへん、かまへん」と自ら身体を動かされ、起き上がろうという意欲が見られる。
- ベッドに座る(端座位)状態が以前と比べて安定。保持できるようになった。
- 車椅子への移乗の際、立ち上がりが以前よりスムーズになり、足踏みをして方向転換できる。



Natsu
なつ
ラブラドル・レトリバー

Hさん(93歳・男性)

- 介護度 4
- ADL B2
- 認知度 IIa
- 実施期間: 2019年3月8日～継続中
- セラピードッグ: なつ



「なつ」と横並びになり、平行棒に手をかけて一緒に立ち上がる。



ベッド上で足を動かし、身体を横向きにしながら柵をつかみ、ベッドから足を下ろす、といった一連の動きを自力でできるよう。

topics \ いろは & はる & メイ / セラピードッグたちの成長日記



Kibi
きび

先輩ドッグとして優しく元気に、みんなの成長を見守ってくれています。



Iroha
いろは 雑種(不明)
2015年5月生まれ
メス♀

ちょっぴり臆病な性格で、セラピー中は大人しいのですが、フィールドでは「ボール投げ」が大好きで活発! そんな「いろは」の魅力を利用者様にも知っていただき、一緒に楽しんでいただけるよう、「投げたボールを取って、持ってくる」ことができるよう練習しています。

目標

利用者様と一緒に遊ぶ

練習中

投げたボールを持ってくる
持ってきたボールを利用者様の手のひらの上に置くことを目標に、段階的にトレーニング中。



よくできました!

トレーナーが投げたボールを持ってくる「いろは」。



Haru
はる 黒柴
2018年2月4日生まれ
オス♂

セラピーデビューに向けてさまざまなことにチャレンジ中! 利用者様と一緒に散歩できるように、杖や歩行器などの「歩行支援用具」に慣れるように頑張っています。

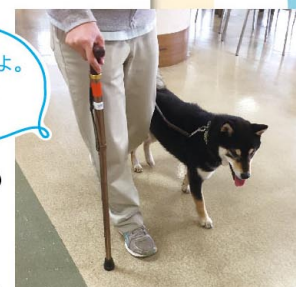
目標

セラピーデビュー

練習中

- 1) 床に置かれた杖の上を、トレーナーの横に付いてまたぐ。
- 2) 杖を持ったトレーナーと一緒に歩く。
- 3) 杖が倒れた時の大きな音に慣れる。
- 4) トレーナー以外の人物が杖を持って横を通っても平気でいられる。

杖なんて怖くないよ。杖を持った人とも一緒に歩けるよ。



May
メイ ポメラニアン
2017年11月4日生まれ
メス♀

メイは唯一の小型犬なので今後、利用者様に「抱っこ」していただいたり、ベッドに上がったりする機会が増えます。「アボジット」を身につけると、メイ自身も安心して、その場にいられます。また、ベッドマナーや集団セラピーのレクリエーションなど、利用者様と一緒に楽しめる得意技の習得にもつながります。

目標

得意技を増やす

練習中

「アボジット」の習得
ハンドターゲットで指示した場所に自ら移動し、座れるようにしています。



アボジット!